

科目名	助産学演習 I Seminar in Midwifery I
授業形態	演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	通年・応談
単位数	2単位
担当教員名	金澤 悠喜 Yuki Kanazawa 川野 亜津子 Atsuko Kawano 非常勤講師:清水 幹子 Mikiko Sumizu、所 恭子 Kyouko Tokoro
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること 金澤悠喜 4B棟501室 ykanazawa@md.tsukuba.ac.jp 川野 亜津子 4B棟511室 AKAWANO@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	1. 仰臥位における分娩介助方法について説明できる 2. シミュレーターを用いて仰臥位における分娩介助ができる 3. 分娩進行の診断と分娩予測を理解できる 4. 正常分娩における助産診断・分娩予測・助産ケアについて理解できる 5. 正常分娩事例での助産過程の基本をロールプレイで展開できる 6. 正常分娩時に必要な助産ケアを根拠を基に、実践できる 7. 分娩直後の助産診断およびケアを実践できる 8. フリースタイルにおける分娩介助方法のポイントおよび注意点を理解できる
他の授業科目との関連	助産学特論 I、助産学特論 II、周産期のフィジカルアセスメント、看護コミュニケーション論、助産学演習 II、助産学実習
履修条件	受講は、助産師国家試験の受験資格を得ようとする学生に限る
授業概要	ローリスク妊産褥婦および新生児に対して、高度な助産実践者として確かな技術と科学的根拠に基づいた助産ケアを提供するための基本的知識・技術を習得する。
キーワード	助産学 Midwifery 分娩介助 Assistance with Delivery 周産期ケア Perinatal Care
授業計画	1. (5/28 3限)産褥期の助産診断(1)(川野) 2. (5/28 4限)産褥期の助産診断(2)(川野) 3. (6/4 3限)新生児期の助産診断(1)(川野) 4. (6/4 4限)新生児期の助産診断(2)(川野) 5. (6/25 3限)基本的な分娩介助方法(1)(川野) 6. (6/25 4限)基本的な分娩介助方法(2)(川野) 7. (7/2 3限)基本的な分娩介助方法(3)(金澤・川野) 8. (7/9 3限)基本的な分娩介助方法(4)(金澤・川野) 9. (7/9 3限)基本的な分娩介助方法(5)(金澤・川野) 10. (9/9 3限)初産婦の分娩進行の診断と分娩介助(1)(金澤・川野) 11. (9/9 4限)初産婦の分娩進行の診断と分娩介助(2)(金澤・川野) 12. (9/9 5限)初産婦の分娩進行の診断と分娩介助(3)(金澤・川野) 13. (9/17 3限)経産婦の分娩進行の診断と分娩介助(1)(金澤・川野) 14. (9/17 4限)経産婦の分娩進行の診断と分娩介助(2)(金澤・川野) 15. (9/17 5限)経産婦の分娩進行の診断と分娩介助(3)(金澤・川野) 16. (9/20 3限)会陰切開、裂傷、縫合、診察技法(所) 17. (9/24 3限)分娩介助技術確認・試験(1)(金澤・川野) 18. (9/24 3限)分娩介助技術確認・試験(2)(金澤・川野) 19. (9/26 3限)フリースタイルにおける分娩介助(1)(清水) 20. (9/26 4限)フリースタイルにおける分娩介助(2)(清水)

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>講義(30%)と演習(70%)を併用する</p> <p>基本的な分娩介助方法に関しては、個々で練習を行い、実技試験に臨む必要があります。</p>
成績評価方法	<p>実技試験100%</p> <p>&lt;評価基準&gt;          評価の視点は以下のとおりである</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適切な助産診断を設定できる</li> <li>2. 設定した助産診断の根拠を先行研究を用いて説明できる</li> <li>3. 設定したに助産診断対してどのような助産ケアがあるのかを導き出せる</li> <li>4. 個別性を踏まえた助産診断および助産ケアを述べることができる</li> <li>5. 自らの学びと課題を具体的に述べるができる</li> <li>6. 他の学生からも、学びを得ることができる</li> <li>7. 基本的な助産技術および助産ケアができる</li> </ol> <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである。</p> <p>A* 上記1～7を自身で達成できる          A 上記1～7をほぼ自身で達成できる          B 上記1～7を教員の指導を受けながら達成できる          C 上記1～7を教員の指導を受けながら概ね達成できる          D 上記1～7について教員の指導のもとでも達成できない</p>
教材・参考文献・配布資料等	<p>助産師基礎教育テスト 日本看護協会出版社          助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版 医学書院          マタニティ診断ガイドブック第5版 医学書院          実践マタニティ診断第4版 医学書院</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	